

氏名	須永 康代	部署	理学療法学科	職名	准教授
研究分野	生体運動学, ウィメンズヘルス理学療法学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2004年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科卒業、2011年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程前期修了、2019年広島大学大学院保健学研究科心身機能生活制御科学講座博士課程後期修了				
経歴	2006年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助手、2010年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教、2020年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科准教授				
所属学会 (役職)	日本理学療法士学会 (ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門運営幹事)、埼玉県理学療法士会 (新人教育部員)、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 (学会誌編集委員)、専門リハビリテーション研究会、日本母性衛生学会 (査読員)、臨床歩行分析研究会、日本女性骨盤底医学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1							
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Changes in motion patterns among pregnant women turning while carrying an object after rising from a chair	共著	あり	○	International Journal of Industrial Ergonomics, 80	Yasuyo Sunaga, Makoto Takahashi, Masaya Anan, Koichi Shinkoda	2020.11
(3) 学会発表							
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市		発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
(4) その他							
	名称	単・共	発表場所等		発表者 (発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし						
2. 競争的資金等の研究							
	競争的資金等の名称	研究名		研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	科研費基盤C	骨盤ベルトによる姿勢制御戦略への波及効果の妊娠中から産後に至るまでの継続的検証		研究代表者	2020.4-2023.3		
2	学内奨励研究費 (A)	骨盤底筋における質的評価のための筋輝度及び筋硬度を用いた解析		研究代表者	2020.4-2021.3		
3	学内奨励研究費 (S)	住民の身体活動量・身体機能を高めるための、自宅内外での健康行動の継続実践を促す、行政と連携支援する健康教室への参加とその効果		研究分担者	2019.4-2021.3		
3. 教育業績							
(1) 講義							
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)			
1	発達障害理学療法学	○	8	運動発達検査や動作の発達について画像や動画を活用して講義を行った。			
2	神経障害理学療法学	○	6	神経疾患とその理学療法について画像や動画を活用して講義を行った。			
(2) 演習							
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)			
1	理学療法研究法演習		0.5	ウィメンズヘルス領域の理学療法研究について、実例を紹介しながら講義を行った。			
2	発達障害理学療法実践テュートリアル	○	5	実際の症例情報を提示し、学生がグループディスカッションを行った。さらに理解を深めるためにディスカッション内容についてプレゼンテーションを行い理解を深めた。			

3	ウィメンズヘルス理学療法学	○	8	女性のライフサイクルにおける変化と特徴的な疾患についての講義と理学療法評価・治療に関する実技を行った。さらに文献抄読を通して理解を深めた。
4	理学療法セミナー (OSCE1)		5	臨床教育実習に向けた問診や医療面接技術を習得できるよう、客観的臨床能力試験 (OSCE)の運営を行った。
5	理学療法セミナー (OSCE2)		5	臨床教育実習に向けた理学療法評価やプログラム立案・実施について習得できるよう、客観的臨床能力試験 (OSCE)の運営を行った。
6	理学療法特別演習		0.5	発達障害理学療法学分野における国家試験の過去の出題傾向をふまえた演習を行い、国家試験に向けたサポートを行った。

(3) 実習

	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	ヒューマンケア体験実習	○	14	施設担当として実習施設との調整を行い、円滑な実習を実施できるよう努めた。また、事前オリエンテーションや4日間の実習を通して、学生が積極的に学びを深められるよう指導を行った。
2	運動学実習		20	動作分析、歩行分析について、実習を通して手法を学び、生じた結果に対する考察により理解を深めるよう指導を行った。
3	発達障害理学療法学実習		8	ゲストスピーカーとともに、正常発達、発達障害児における理学療法評価およびアプローチの実践について授業を行い、理解を深めた。
4	臨床教育実習Ⅰ		2021.2.22-2021.3.5	2年次生を対象に2週間の検査・測定実習を実施した。実習中は実習指導者との状況確認を行い、実習後は学生の報告をもとにフィードバックを行った。
5	臨床教育実習Ⅱ		2020.9.28-2020.10.31	3年次生を対象に5週間の評価実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
6	臨床教育実習Ⅲ		2020.8.10-2020.9.18	4年次生を対象に6週間の臨床実習、学内補充実習での発達障害理学療法学領域における授業 (4コマ) を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。
7	臨床教育実習Ⅳ		2020.10.19-2020.11.6	4年次生を対象に3週間の地域/特定領域実習を実施した。実習中は実習指導者との情報共有を行い、実習後は報告会およびレポートを通しての指導、個別フィードバックを行った。

(4) 論文指導

	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4-2020.12	主指導	4名 副指導 名
2	修士論文		主指導 (指導教員)	名 副指導 (指導補助教員) 名
3	博士論文		主指導 (指導教員)	名 副指導 (指導補助教員) 名

(5) その他

	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	1年次学年副担任	2020.4-2021.3	ガイダンス、面談等を実施し、学生生活の支援を行った。
2	ゼミ担当	2020.4-2021.3	1~4年次生を対象にゼミ活動を通して学生間の交流を図ることができた。3・4年次のゼミ生には、卒業研究に向けた研究指導を行った。

4. 社会貢献活動

(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師

	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	埼玉県立大学 理学療法学科臨床実習受け入れ施設対象講習会	理学療法学科	ウィメンズヘルス理学療法	2020.10

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等

	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期
1	埼玉県理学療法士会	教育部員	2020.4~2021.3
2	日本理学療法士協会日本理学療法士学会	ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門 運営幹事	2020.4~2021.3
3	日本理学療法士協会日本理学療法士学会	第9回日本運動器理学療法学術大会 準備委員	2020.4~2021.3

4	日本母性衛生学会	査読員	2020.4～2021.3	
5	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事	2020.4～2021.3	
6	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	第11回学術集会企画運営委員会	2020.4～2021.3	
7	社会福祉法人みんなぎ	評議員	2020.4～2021.3	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	東武よみうり新聞	県立大発！耳より健康情報 第38回「骨盤底筋体操でモレなく」	2020.7	
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	国際協力事業	日本理学療法士協会	カンボジア教育支援事業でのウィメンズヘルス理学療法に関するオンデマンド講義	2020.12-2021.2
2	産業支援	日本シグマックス（株）	妊産婦を対象とした骨盤支持ベルトの開発及び効果検証	2020.4-2021.3
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画推進委員会委員	2020.4～2021.3	
2	学科等における委員会等	OSCE運営担当	2020.4～2021.3	
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				